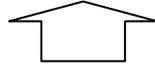


目指す姿(キャッチフレーズ)

歩いて暮らせる信州 一人間と環境の関係を見つめ直すー



取組・方策

- 1 節約型・環境配慮(エコ)・健康志向の観光客を呼ぶ取組
  - ・トレッキングなど、エコツーリズムができる取組を強化する(遊歩道の整備)
  - ・自転車を活用するなど、健康に特化した取組を増やす
  - ・クリーンエネルギーを使ったスタンドを増やす
  - ・県内の温泉地めぐりを企画する
  - ・食品のブランド化により安全のイメージを作っていく
  - ・公共交通機関を充実させる(バスの利用を増やすためにバスのダイヤ改正を行う)
  - ・海外の映画・ドラマロケを受け入れ、外国人観光客を取り込む
- 2 PRの強化
  - ・観光資源の認知度を上げる
  - ・戦国武将や城に焦点を当てたイベントなどを開催する
  - ・温泉地をPRすることで高齢者を誘致する
  - ・田舎暮らしの良さを高齢者へ向けてPRする
- 3 高齢者にとって住みやすいまちづくり
  - ・生活のためのバリアフリーな歩道環境の整備
  - ・商店街までの交通を整備(送迎バスなど)
  - ・買物サービスを充実させる(宅配、出張販売)
  - ・ローカル線を利用して商店街まで買物に出かけた人へのサービス(割引、ポイント、オプション)
  - ・高齢者の地域や技術を生かした活動により、観光客を取り込む



<p>(長野県的の要因性)</p>	<p><b>強み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の中心に位置する</li> <li>・都心からアクセスしやすい</li> <li>・温泉が出る地域が多い</li> <li>・諏訪湖や木崎湖など湖が多い</li> <li>・りんごに特化したイメージづくりを行っている(飯綱町)</li> <li>・茅野市の寒天生産量日本一</li> <li>・映画ロケ地としてPRする取組</li> <li>・自転車への配慮(自転車ゾーンの設置)がされている</li> </ul>	<p><b>弱み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者にやさしくない</li> <li>・歩道の整備環境が悪い、夜道が暗い</li> <li>・「豊かな自然」を県民が重視していない</li> <li>・観光のPR不足</li> <li>・若者向けの観光スポットの少なさ</li> <li>・教育県のイメージと現実がかけ離れている</li> <li>・買物施設が遠い</li> <li>・県内での移動手段が少なさ</li> <li>・バスが時間どおり来ない</li> <li>・ローカル線の需要の低さ</li> <li>・西日本・北陸へのアクセスが悪い</li> <li>・リニア中央新幹線(沿線部への集中)</li> </ul>
<p>(社会的要因)</p>	<p><b>機会(チャンス・プラス要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアからの外国人観光客の増加</li> <li>・節電・省エネ志向、環境意識の高まり</li> <li>・お金をかけない節約型レジャー志向</li> <li>・健康長寿志向</li> <li>・神話や戦国時代などの歴史ブーム</li> <li>・食料品の安全性が求められる</li> <li>・生活必需品の買物は近所で済ます</li> </ul>	<p><b>脅威(リスク・マイナス要因)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化</li> <li>・商店街の衰退</li> <li>・買物難民の出現</li> <li>・円高による、諏訪市の精密機械等輸出産業の衰退</li> <li>・求人が少ない</li> <li>・原子力発電所</li> <li>・放射能汚染</li> </ul>